

学校でのBLS教育 学習指導案（中学校・高校）

保健体育科 学習指導案

単元名 傷害の防止

単元目標

交通事故や自然災害によって尊い命を失ったり、傷害を負うことがないように、日頃の健康・安全に関する意識を高め、正しい知識を身に付けるとともに、応急手当の意義や手順の理解を深め、生涯にわたって健康でたくましく生きる力を養う。

学習内容とその指導の要点

「傷害の防止について理解を深めることができるようにする。」

- ア 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などがかかわって発生すること。
- イ 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。
- ウ 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によって生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。
- エ 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、応急手当には、心肺蘇生法などがあること。

具体的な指導計画と展開例

指導計画（8時間完了）

1. 中学生の事故やけがの防止
2. 交通事故の現状と原因
3. 交通事故の防止
4. 自然災害の現状と対策
5. 応急手当の判断と手順
6. 胸骨圧迫法とAED・・・本時
7. 止血法・包帯法
8. 生活の中で起こりやすいけがの手当、自分で出来る応急手当

以上